

# 箱根湿生花園の 花だより

2018年5月1日発行

## クマガイソウ

「熊谷草」(ラン科)  
北海道(西南部)~九州に分布し、山林、とくに杉林や竹林に生える多年草。名前の由来は、袋状の花を源平合戦の武将、熊谷直実の母衣(ほろ)に見立てたもの。



## File2 シュレーゲルアオガエル 無尾目アオガエル科

4月から5月中旬の園内では、いたる所でコロコロと綺麗な鳴き声が聞こえてきます。声の主はシュレーゲルアオガエル。聞き慣れない名前ですが、日本固有種のカエルで、大きさは3~5cmとアマガエルより一回り大きいのが特徴です。繁殖期であるこの時期は、ほとんど地中にいるため、鳴き声を頼りに探してもなかなか姿は見る事ができません。産卵も主に地中で行い、200~300個の卵が入った白い泡状の卵塊を産み付けます。園内の自然を目だけでなく耳でも感じれば、カエルたちの大合唱が聞こえるはずですよ。



新緑が眩しいこの季節。今年は例年より早めにヒマラヤの青いケシが見頃を迎えています。咲き出したものから順次、展示してまいりますので、5月中旬頃までは、お楽しみいただける予定です。



サクラソウ

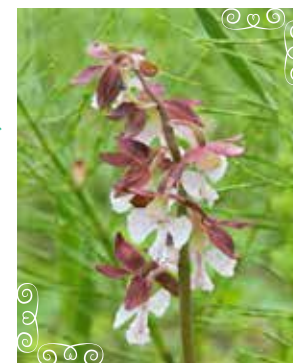


チョウジソウ

木道を歩けば、サクラソウやチョウジソウなどかわいらしい花々を観察できます。

## Pick Up ヒマラヤの青いケシ ケシ科

ヒマラヤの青いケシが属するケシ科メコノプシス属の植物は、世界に60種以上が知られ、ネパール、ブータン、中国など、ヒマラヤ周辺のごく限られた地域を分布の中心としています。本来、標高3000m~5000mの高標高域に自生するため、夏の気温が高い低地での栽培が困難なことと、花色が美しいことから「天上の妖精」、「幻の花」と呼ばれ人々を魅了してきました。現在、箱根湿生花園では美しく咲き誇る青いケシを展示しています。大人気のお花で会場には人だかりができるほどです。開花調整を行い、開花した株から順に展示していくため、5月中旬頃までは満開の青いケシを楽しめそうです。一度見たら忘れられない、ヒマラヤンブルーのお花。ぜひご堪能ください!



## エビネ

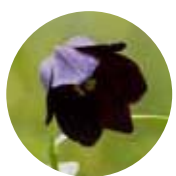
「海老根」(ラン科)  
北海道(西南部)~沖縄に分布し、落葉広葉樹林内に生える多年草。名前の由来は、地中にある偽鱗茎の様子が海老の尾に似ているため。唇弁の色は変化が多い。

## Botanical Gallery



### コマクサ

北海道~本州(中部以北)の高山帯の砂礫地に生える多年草。「高山植物の女王」と呼ばれる。



### クロユリ

北海道~本州(中部以北)の高山帯の砂礫地に生える多年草。花からは独特な臭いがする。



### ミヤマオダマキ

北海道~本州(中部以北)の高山帯の砂礫地や乾いた草地に生える多年草。



### クサタチバナ

本州(関東地方以西)から四国の山地に生える多年草。名前の由来は、花がミカン科のイチジクに似ていることから。



### ヒトリシズカ

北海道~九州の山野の林内や草地に生える多年草。名前は花を源義経の愛妾静御前の舞姿にたとえたもの。



### クリンソウ

北海道~四国の山地の湿った場所に生える多年草。名前は花の咲く姿を仏塔の「九輪」に似ていることから。



キバナクリンソウ「黄花九輪草」(サクラソウ科)  
ミャンマー~中国原産の多年草。黄色の花を段輪状に多数付ける。

## ご利用案内

通常営業 9:00~17:00(最終入園 16:30)  
大人(中学生以上)700円 小人(小学生)400円

## アクセス

小田原駅または、箱根湯本駅より箱根登山バス(湖尻・桃源台行)「仙石案内所前」下車、徒歩8分。強羅駅より箱根登山バス(湿生花園行)終点下車。東名高速道路・御殿場ICより、車で20分。

Hakone Botanical Garden of Wetlands

# はこね湿生花園

〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 817

<http://hakonekanko.com/>